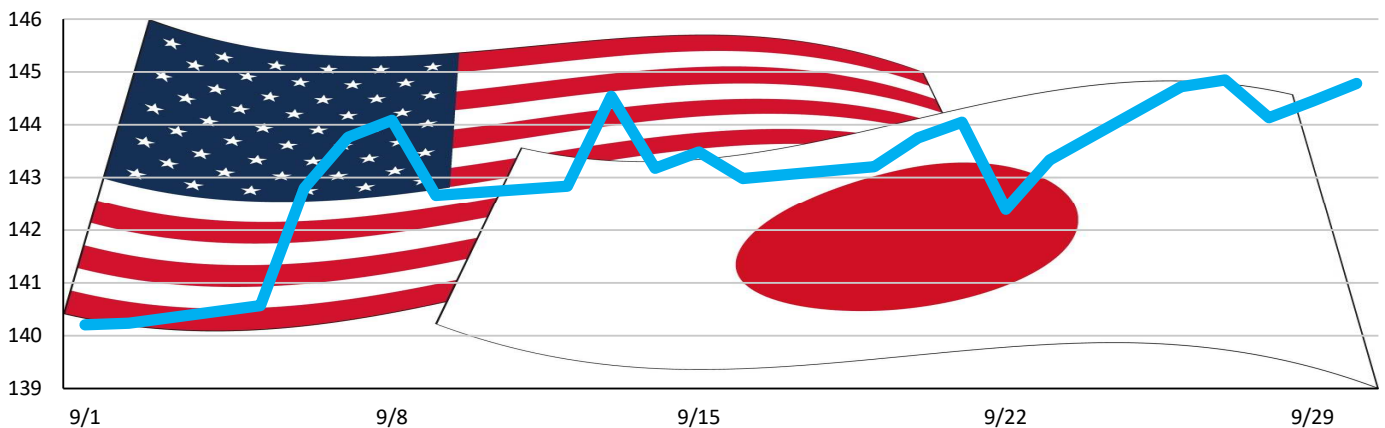


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**9月のドル円相場は138円後半～145円後半で推移。月初は良好な米経済指標発表を受けドル買いが活発だったが、日銀黒田総裁の円安けん制発言を受けて一時急落。その後、米消費者物価指数の強い数値を受けて再びドル買いとなったものの、日銀がレートチェックを実施したことが伝わると介入警戒感から急落する荒い値動き。中旬以降は米FOMCで0.75%利上げ決定、日銀金融緩和政策継続などを受け円安ドル高が進み146円台目前となったが、政府・日銀がドル売り円買いの市場介入を実施したことで140円台前半までドル円は暴落。連休後には暴落幅の8割程は解消したものの、145円台を前に再び介入警戒感が強まり144円台を中心とした持ち合いの動きとなった。

(円)

米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**日銀と各国中央銀行の金融政策の違いによる金利差を背景とした円売りの流れに変化は見られないだろう。ただ、政府・日銀が約24年ぶりとなるドル売り円買いの市場介入に踏み切ったことで、ドル円の145円台は心理的に意識されている。再び市場介入が行われるかどうか不透明だが、当局を警戒した神経質な動きとなることが予想されるため、短期的な急変動に注意したいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
10 / 27 (木)	21 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
10 / 27 (木)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
10 / 28 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
11 / 3 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
11 / 3 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
11 / 4 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
11 / 10 (木)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。